

Fujitsu Enterprise Postgres 15

プログラム修正一覧

Linux

J2UL-2835-01PJZ0(00)
2023年4月

まえがき

本書では、今回のバージョン・レベルで修正された障害内容について説明しています。

なお、本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

表記について

以下の表で、エディションごとの修正状況を示します。

障害番号	障害内容
障害を一意に示す番号	障害内容のサマリ

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

出版年月および版数

2023年 4月 初版

著作権

Copyright 2022-2023 Fujitsu Limited

第1章 修正内容

本バージョンでは、PostgreSQL 15で実施済みの障害修正を吸収しています。



実施済の障害修正に関しては、以下を参照してください。

PostgreSQL Global Development GroupのWebサイト内:

[PostgreSQL 15]

<https://www.postgresql.org/docs/15/release-15.html>

また、本ソフトウェアでは以前のバージョンで発生した障害が修正されています。

今回のバージョンレベルで吸収された修正内容、および修正番号については、以下を参照してください。

- [Fujitsu Enterprise Postgres 15のプログラム修正一覧](#)

Fujitsu Enterprise Postgres 15のプログラム修正一覧

障害番号	障害内容
PH16261	WebAdminを使用して同期スタンバイインスタンスを削除した場合、マスタインスタンスのパラメータ <code>synchronous_standby_names</code> にアプリケーション名が残ります。
PH18843	トランザクションログの二重化機能有効化時に、不要なWARNINGメッセージが出力される場合があります。
PH19098	pgauditを利用しているとSQLがエラーになる場合があります。
PH19668	ODBC データソース アドミニストレーターからODBCドライバの高度な設定を実施すると、MyLogの設定が自動的に有効となり、その後無効化できなくなります。
PH19947	データベースの切り替えが発生後、Connection Managerを使用して接続していたアプリケーションがデータベースへ再接続できない場合があります。
PH20434	スタンバイサーバでメタキャッシュがGMC領域に配置されない場合があります。
PH20625	Oracleデータベース互換機能を使用するとエラーとなる場合があります。
PH21161	Mirroring ControllerによるOS異常検知時に、裁定サーバのフェンシングコマンド 実行後に自動切り替えや自動切り離しが失敗する場合があります。
PH21305	<code>mc_ctl status</code> コマンドを実行した際にネットワークやCPUの状況などによってステータスがunknownになる場合があります。
PH21560	CONNECTクラス(接続に関するイベント)における切断を監査ログに出力する パラメータ <code>audit_log_disconnections</code> を新規に追加します。
PH22445	GINインデックスを持つテーブルに対してSQL文やVACUUMを実行すると、誤った検索結果が返却されたり、プロセスが異常終了する場合があります。
PH22603	鍵管理システムをキーストアとして使用する場合の透過的データ暗号化の運用において、マスタ暗号化キーを変更すると、WALの適用が失敗する場合があります。
PH22741	シングルユーザーモードで起動するとpostgresプロセスがコアダンプして異常終了する場合があります。